

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 平成30年10月24日

都市名・国 大阪府 茨木市

取組の名称	茨木市非核平和展
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	「平和の尊さ」「戦争の悲惨さ」
対象者 (年齢・学年、人数等)	市民 (期間全体の来場者数、約2,300名)
実施場所	茨木市立中央図書館、茨木市庁舎 (南館・本館)
実施期間	平成30年7月31日～平成30年8月5日 (6日間) (平成元年から毎年7月末～8月上旬に開催)
<p>取組の概要</p> <p>戦争が終結してから、70年以上が経ちます。多くのひとが戦争の犠牲となり苦しめられた戦争の経験と事実を改めて振り返ることで、戦争の記憶を風化させず、戦争を知らない若い世代に受け継ぎ、『平和の尊さ』『戦争の悲惨さ』について再認識していただくために取り組みを行う。</p> <p>具体的には、委託業者と参加協力団体と共に、戦争に関するパネルや絵画などの展示や被爆体験の語り部、アニメ映画の上映などを行い、小中学生から高齢の方までが来場しやすいような内容で実施しています。</p> <p>今年度の取り組み 別添「案内ちらし」のとおり</p> <p>被爆体験の語り部を茨木市原爆被害者の会に毎年お願いしているところですが、語り部をしていただく方の高齢化に伴い、現在、小中学生向けの「被爆体験語り部」DVDを業務委託で作成中。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>青年層や高齢層からは、小中学生の戦争に対する学習の良い機会となるので、毎年続けて欲しいというアンケートの声が多く寄せられています。</p> <p>また、小中学生からは、戦争の悲惨さを知って、「戦争はしたらダメ!」「世界で戦争が起こらないで!」という戦争の悲惨さにふれ、平和への尊さに関する意見が多く寄せられています。</p>	
<p>成果</p> <p>毎年実施していますが、今年度は、全体で約2,300名の方が来場し、市民の関心を得ていると実感しております。</p>	
<p>課題</p> <p>毎年実施しているため、展示物などの企画や内容を市民の関心を獲れる内容とするための工夫や仕掛け。</p>	
<p>取組で使用した素材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆投下直後の広島 (写真) ・広島市基町高校生が描いた原爆の絵画 (パネル) 	
<p>上記素材の共有の可否 (取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input checked="" type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



平成30年 茨木市非核平和展

7月31日火 → 8月5日 日

茨木市立中央図書館 (茨木市畑田町1-51)

▶ 9:30～20:00 (※土・日は17:00まで)

茨木市役所
本館・南館 1F ロビー

7月31日 火 → 8月3日 金

▶ 8:45～17:15まで

● 子どもたちと考える「戦争と平和」
in 茨木実行委員会企画
高校生が描いたヒロシマ
「原爆の絵画展」

1F エントランスホール

- 「消えた街並み」を歩く
- リトルボーイ模型 (1/2スケール)
- 高校生が描いた「原爆の絵」

2F ギャラリー / 多目的室

- 立命館大学国際平和ミュージアム企画
- 原爆被害者の会「非核平和語り」 8月5日 日
- 「原爆と人間」展 ● 平和アニメ上映
- 平和のメッセージ

1・2F ● 平和を考えるクイズラリー

▶ 9:30～17:00まで

開催期間中、中央図書館にて「関連図書・ビデオ特設コーナー」を設けています。

入場
無料

主催  茨木市

協力 立命館大学国際平和ミュージアム
茨木市原爆被害者の会
子どもたちと考える「戦争と平和」in 茨木実行委員会

問合せ先 人権・男女共生課
TEL 072-622-6613 (直通)

展示内容のご案内

73年前の終戦を迎えるまで、日本は外国と戦争をしていました。日本の経験した決して風化させてはならない事実です。戦争体験者の高齢化が進むいま、改めて忘れてはならない戦争の記憶を振り返ることで、“戦争の悲惨さ”“平和の尊さ”について、そして『真の平和』を築くために私たち一人ひとりに何ができるのかを考えます。

茨木市立中央図書館

1F エントランスホール

●「消えた街並み」を歩く

1945(昭和20)年8月6日午前8時15分、広島は一瞬にして景色を変えました。地球上で初めて原子爆弾が投下された町がどのように変わってしまったのか、再現された「消えた街並み」の中に立つことで原子爆弾の恐ろしさや戦争について考えていただけます。



写真：紙屋町付近から南西に向かって(航空写真)
(寄贈/スティムソン・センター、作成/広島市立大学・橋本健佑、提供/広島平和記念資料館(市大フォレストスタジオで撮影))

2F ギャラリー

●立命館大学国際平和ミュージアム企画 平和を求めて広がる非核都市宣言



ポスター「NO MORE HIROSHIMAS」1985年
立命館大学国際平和ミュージアム所蔵

1984年に茨木市議会が「非核平和都市宣言」を議決し、今年で34年を迎えました。非核都市宣言は、核廃絶運動が世界的に高まった1980年代に日本でも大きく広がり、2018年現在、日本の自治体の約91%が非核都市宣言を表明しています*。

本企画では、日本に広がる非核都市宣言について立命館大学国際平和ミュージアム所蔵の資料を通して紹介します。

* 2018年6月現在、日本非核宣言自治体協議会

2F 多目的室

●原爆被害者の会「非核平和語り」

8月5日(日) ▶ 10:30~11:30
▶ 13:00~14:00

「茨木市原爆被害者の会」の語り部による非核平和語りを開催します。実際に体験された方の語りにより、戦争の悲惨さをより身近なものとして伝えます。

●平和アニメ上映

非核平和に関するアニメ映画を、非核平和展開催期間中に上映します。

上映作品

※各日数回ずつ上映

「つるにのってーとも子の冒険ー」
「はとよ ひろしまの空を」
「ヒロシマにー番電車が走った」

●「原爆と人間」展

1945(昭和20)年8月6日、原子爆弾が史上初めて広島に投下されました。その3日後には長崎に。街は一瞬のうちに焦土と化し、多くの人々がその犠牲となりました。当時の悲惨な状況をパネルで紹介します。



(資料提供) 茨木市原爆被害者の会

●平和のメッセージ

当日会場に、皆さんの“平和を願う”気持ちを書いていただくコーナーを設けます。ご自由に、「絵画」や「メッセージ」をお寄せください。

茨木市役所本館・南館 1F ロビー

●子どもたちと考える「戦争と平和」 in 茨木実行委員会企画 高校生が描いたヒロシマ「原爆の絵画展」



①平和学習、広島・長崎への修学旅行などを通して「戦争と平和」を学んだ未来を担う子どもたちに届ける「被爆者から聞き取り高校生が描いた絵画」(本館ロビー)の展示。
②日中戦争以来国内では戦意高揚・軍備増強のため多くのポスターやチラシが発行されました。耐乏生活等を強いたポスター(複製版)などを展示紹介(南館ロビー)。

●原爆絵画を描いた生徒さんのお話

8月2日(日) ▶ 14:00~ 市役所南館通信情報コーナー

会場へのご案内



※ご来場の際は徒歩、自転車、公共交通機関をご利用ください。

JR「茨木駅」下車北へ1500m、
または阪急「茨木市駅」、JR「茨木駅」から
阪急バス80系統「中央図書館前」下車